



2022年度
2023年3月発行
広報

めんこい通信

盛岡 3団 18団
紫波 11団
宮古 14団
大槌 27団
花巻 5団
北上 20団
奥州 9団

発行/ガールスカウト岩手県連盟 組織・広報委員会

2023.3 現在

SDGsの理解を深める年代ごとの部門集会 わたしたちにできることは、何だろう？

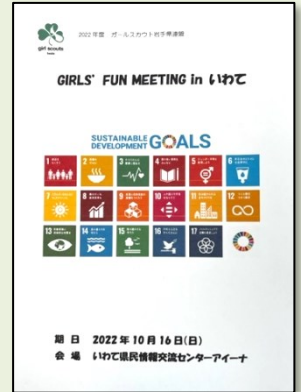
*下期の県連事業の様子を
中心にお知らせします

GIRLS' FUN MEETING in いわて

10/16(日) 盛岡市にある「アイーナ・いわて県民情報交流センター」において“ガールズファンミーティングinいわて”開催。SDGsについて学びを深め、自ら考え計画し団で取り組みができるように、そして11/3(祝日)開催の“北海道・東北地区ガールズファンミーティングinやまがた”参加者への事前研修も兼ね、シニア・レンジャー部門(中・高校生年代)のスカウトたちが1日を過ごしました。

まず、SDGsの理解を確認。日頃実践していることを掲示。次に「なぜ、ガールスカウトはジェンダー平等に取り組むのか」を聴き、同年代が考えた作文を資料に、SDGsにつながっていると思うこと、気づいたことを読み取り、自分の意見として発表しました。

リフレッシュタイムには、岩手県連盟の歌『岩手のスカウト』の振り付けを考えました。ブラウニー部門(小学1~3年生)のスカウトが楽しく歌や振り付けを覚えられるように工夫しました。どちらの経験も理解力や伝える力を養うものです。真剣な表情で学ぶ姿と楽しく踊る姿のメリハリがとても素敵でした。



真剣な姿は美しいですね

えーっと… こうかな？

「岩手のスカウト」の譜面をのぞき込むスカウト

こうする？ うんうん、イイね！ みんなの笑顔もイイ感じ♪



楽しく覚えやすい振り付けができました！ ぜひ、次はみんなで踊りましょう♪

ジュニア集会 ～もっと身近にSDGs～



11/6(日) 紫波町にある「オガールプラザ1F 紫波町情報交流館」においてジュニア集会を開催。秋晴れの少し寒い日でしたが、元気なスカウトたちが集いました。

「オガールプラザ」は、第11団が集会を行っている施設。商業複合施設としても利用されているため、一般の方が沢山いらっしゃるから、活動のPRになればと会場に決めました。

今回のジュニア集会のテーマは、～もっと身近にSDGs～よく聞くようになったSDGsという言葉ですが、ジュニア年代(小学4～6年生)の子どもたちにとって難しく思うことがあるかも知れません。集会では、身近なところからできることを考え、自分たちでも行動できることがあると学びました。



外でひろった色とりどりの秋の落ち葉をデコレーションに



自分の名前の頭文字を使った自己紹介文を作成して発表

事前課題「17のSDGsについて各自調べ、目標を達成するために今の自分にできることを考える」を準備して参加したスカウト。お家の方に、考える手助けをしていただいたとのこと。「子どもに聞かれて一緒に考えましたが、大人も勉強になりました」とお話しくださったお家の方も。ご支援感謝いたします。



自己学習の発表・仲間との意見交換を通し、また担当委員のリーダーやサポート団の年長スカウトのお姉さんたちに教えてもらい、とても沢山のことを学ぶことができました。このほかにも、救急法や旗の扱いも、皆で学びました。

「今日は何をしているんですか？」と会場の通路を歩きかうお客様の中には、関心を示してたずねてくださった方もいました。一生懸命勉強している女の子たち・ガールスカウトの姿は、地域の方々の目に確実に残ったことと思います。サポート団の第11団の皆さま、ご協力ありがとうございました！

ハーベストレポート & ふれあい広場

1/29(日) 盛岡市にある「アイーナ・いわて県民情報交流センター」において“ハーベストレポート&ふれあい広場”開催。全部門スカウトの久しぶりの集いでした。

ハーベストレポートとは、活動から得た収穫報告を意味します。各団のスカウトたちがどんな活動をして・何に気づき・学んだのか、団のある地域の紹介とともに動画で発表しました。どの団も工夫をこらした動画を見せてくれ、コロナ禍で集まることが難しかった間も、懸命に色々な活動に取り組んでいることがわかりました。

参加者は、感想をメッセージカードに書いて団へプレゼント。「がんばってるね」「すごい！」などのメッセージが、どの団にも沢山寄せられました。

日本のガールスカウト運動100周年記念国際キャンプに参加したスカウトたちの発表も素晴らしかったです。



受付や会場設営を担当したサポート団、第14団・第20団の皆さま ありがとうございます

スカウト実行委員、しっかり進行していて立派でしたね

午後からはリーダー方によるクラフトコーナー「ふれあい広場」開設。可愛いクラフト、役に立つクラフト、SDGsに関連するものなど、色とりどりでした。

スタンプラリー形式で回るスカウトたちでとてもにぎわっていました。



どのクラフトも 素敵で可愛くて 楽しくて♪



久しぶりの全部門の集い 名残はつきませんが、再会できることを願い「友情の輪」でお別れ

ガールズ ファン ミーティング
GIRLS' FUN MEETING
in やまがた

TOPIC

ガールスカウトカフェ in いわて
岩手のユースも活動を楽しんでいます！

11/3(祝日) 北海道・東北地区
GIRLS' FUN MEETING in やまがた 開催
テーマ「自分のからだを知ろう、守ろう」

地区の小学6年生から高校生までのガールスカウトが、オンラインで参加。岩手からもシニア部門(中学生)3名、レンジャー部門(高校生)1名が参加しました。

助産師/渡邊安衣子氏の講演を聴き、いくつかのプログラムから自分のからだのしくみや守り方を知り、身近な問題に気づくことからスタートしました。

はじめは緊張気味のスカウトたちでしたが、プログラムが進みグループでの話し合いを重ねるうちに、だんだん他県のスカウトたちとも打ち解けた様子。同じ目的を持って事業に参加するガールスカウトは、メンバーシップ力がとても高く、リーダーシップ力も勿論ばっちりです。限られた時間を充実した時間にしていました。

身近な問題に気づき、自ら進んで問題を解決するために計画をたて、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動できるように、所属連盟や団に戻り、学んだことをシェアし、活動していこう！CAC100アワード(*1)にも挑戦しよう！と約束し、閉会となりました。

注 *1 CAC100アワードとは
ガールスカウト日本連盟が創設
「少女と女性が自分らしく生きられる社会」の構築に
向け活動しコミュニティに変化をもたらした者へ表彰

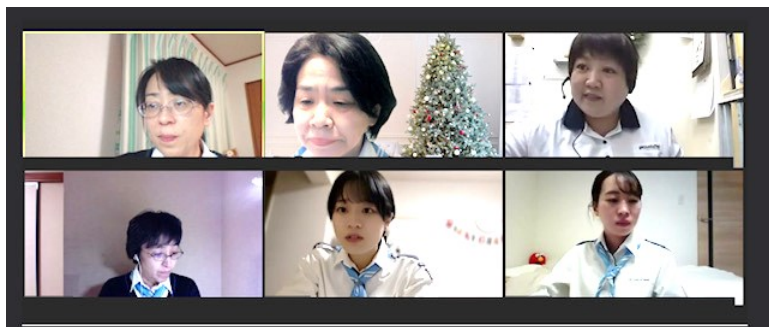
12/5(土)「ガールスカウトカフェ in いわて」オンライン開催

岩手のユース年代(18才～35才)会員と世の中に見られる「格差」について話し合いました。進行は、サポート団第9団の千田千恵リーダー(東京在住)。進学などで東京に住むユース年代会員と事前のミーティングなども行い準備しての開催となりました。

当日、全てのユースメンバーの参加はかないませんでした。担当理事や委員たちもカフェに参加していたことから、年齢上の格差についても様々な意見が出て、とても興味深い展開となりました。

「分かり合う 受け止める 受け入れる 互いを尊重する」
分からないから嫌とかダメではなく、多様性を認めることは大事。

色々な考え方や物事の見方があるということを確認し合ったカフェ。来年度も「ガールスカウトカフェinいわて」開催を計画中です。他県のユースメンバーや県内の年長スカウトも参加できるとイイねと皆で話しました。



2023

ワールドシンキングデイ

2/19(日)「ワールドシンキングデイ」オンライン開催

「ワールドシンキングデイ」はガールスカウトにとってとても大切な日です。運動の創始者、ロバート ベーデン-ポウエル、オレブご夫妻の誕生日である2月22日。私たちは、世界中の仲間と世界中の人たちの幸せを願い、考え、思い、行動する日としています。

今年のテーマは「環境問題と平和」

環境って何？自然ってどういうこと？地球に住む生き物と私たち人間はどんなふうにつながっている？平和な世界とどうつながるの？

リーダーやサポートスカウトから丁寧に教えてもらい、知らなかったことを知り、「森」について詳しく学ぶことができました。

「森」がなくなってしまうたらどうなる？「森」の役割って何でしょう？こんなことがあるよ、こんなことも「森」の役割だよ、とスカウトたち。沢山の考えや意見が出ました。

「森」は沢山の動植物を守り、水や空気をきれいにしてくれていて、地球上の生物(私たち人間だけではなく)にとって、なくてはならない存在だということがわかりました。「森」の「木」が生活の色々な場面、役立っていることも学びました。

(次のページへ続く →)

私たちの世界 私たちの平和な未来
～環境問題と平和～



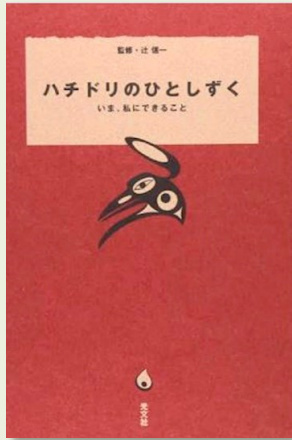
(続き)

次に、もしも、「森」がなくなったら…わたしが動物なら・植物なら・虫なら？
選んだ生き物の気持ちになって考えました。
「食べ物が無くなって死んじゃう」「隠れるところもない」「すみが無くなる」
「日が当たりすぎて枯れるかも」「踏みつけられる」などなど

そして、人間にはどのような影響があるか？

「木でできているものが使えなくなる」「鉛筆がなくなって絵が描けない」
「紙がつかれなくなる」「色々なものが食べられなくなるかも」他にも沢山の
意見が出ました。リーダーからの質問を一生懸命に考え、自分の言葉で伝
えてくれたスカウトたち。

最後に「ハチドリの一としずく」という物語の朗読を聴きました。



辻 信一監修 光文社刊

～全文～

森が燃えていました
森の生き物たちはわれ先にとにげて
いきました
でもクリキンディという名のハチドリ
だけはいつたりきたり
口ばしで水のしずくを一滴ずつはこ
んでは火の上に落としていきます
動物たちがそれを見て
「そんなことをしていったい何にな
るんだ」といって笑います
クリキンディはこう答えました

「私は、私にできることをしている
だけ」

ワーク①

① 動物
② 植物
③ 虫

(1)左の1～3のうち、一つ選びましょ
う
(2)選んだものの気持ちになって、
森がなくなる困ることを考え
てみましょう

ワーク②

森がなくなったら、人間
にはどのような影響があ
ると思いますか？

シニア、レンジャー
日本の豊かな森林を守るために、あなたができることはありますか？

ジュニア
今日学んだことで、家族やお友達に伝えたいことを一つ教えてください。

デングラー、ブラウニー
お家や今日の集会場にある木製のものを探してきてそれを見せてください。

ひとりひとりの「ひとしずく」は本当に小さいものでも、その「ひとしずく」が集まれば川となりやがて海となります。どんなに非力で無理だと思っても、とにかくできることをすること。その大切さをこの物語から学ぶことができたでしょうか。

これからの1年を通し「自然」のこと「環境」のことも団で学んでいきましょう。2023ワールドシンキングデイ活動パックをぜひお買い求めいただき、書かれてあるアクティビティを集会にご活用いただければと思います。

各会場の様子



メインで教えてくださった聡子トレーナーは、神奈川県からリモートで参加

進行役は、サポートスカウトに応募してくれた第11団のレンジャースカウト



3団

いわて盛岡シティマラソン
ボランティアとして活動しました



10/23(日)いわて盛岡シティマラソンにボランティアとして参加した第3団(盛岡市)から、ステキな報告が届きました。

ブラウニー(小学2、3年生)は午前と午後の交代制、レンジャー(高校生)は1日、ファンラン(8.8キロ)とフルマラソンを完走した約5,000人のランナーに「お疲れさまでした。完走おめでとうございます!」と、笑顔で拍手をし、声をかけ続けました。

大会のゲストランナーとして参加していた俳優の和田正人さんから「ガールスカウトの皆さん、お疲れさまです」と声をかけていただき、記念写真撮影ができるというサプライズがありました。

ちょっとお疲れモードだったスカウトでしたが、シャキッと元気に。来年も地域を盛り上げる活動のお手伝いをがんばります!

★お疲れさまでした! 優しいお兄さんで良かったですね (編集より)

5団

カレンダー写真になりました
こども本の森 遠野



2023年のガールスカウト日本連盟のカレンダーに、第5団(花巻市)の活動写真が採用されました。

写真は、2021年の夏にオープンした遠野市にある「こども本の森遠野」古民家を改修して作られ、いろいろなジャンルの本が壁一面の大きな書棚に約1万3千冊もあり、好きな本を手にとって思い思いの場所で読むことができる素敵な空間です。

第5団のジュニア部門(小学4~6年生)スカウトたちが企画した「新春!!電車ツアーin遠野」で訪れた時に撮影したものとことでした。

★2年連続の採用おめでとうございます! 行ってみたい場所ですね。(編集より)

20団

歩く国際協力
～明るい未来のために～



世界には家族が生きるために必要な水汲みを毎日6キロもの道のりを歩くことを強いられている少女や女性たちがいます。国際NGO「CARE(ケア)」による水×ジェンダーの課題解決と啓発に関するグローバル・キャンペーン『歩く国際協力』の今年のキャンペーン期間は、国際女性デーである3月8日(水)～5月31日(水)です。※事前エントリー必要 今年度は締切済み

好きな時間好きな場所で歩き歩数を報告すると、500歩につき1円が、またSNSで「CARE」の頭文字「C」の写真をシェアすると写真1枚につき100円が、協賛企業からケア・インターナショナルジャパンに寄付され、活動資金になります。

写真は、ここ数年このプロジェクトに継続して取り組んでいる第20団(北上市)の皆さんです。昨年『Let's Try!!! 歩く国際協力part2』を企画し、北上駅から和賀川ふれあい広場まで少女や女性たちの気持ちを想像しながら歩き、川の水をバケツリレーする体験や清掃活動を行ったそうです。また、ウクライナのことを学び、ウクライナカラーのクラフトで「C」の文字を作りSNSに投稿しました。

このプロジェクトのジュニアアンバサダーである藤田若葉さんは、今年も4月に『Let's Try!!! 歩く国際協力part3』を企画中とのこと。皆さんも一緒に歩いてみませんか？

★part3実施の時には、是非、誘ってくださいね。(編集より)

今後の事業予定

2023年度の事業は総会時承認決定しますが、現在計画している予定としてお知らせいたします

3月



5日(日) 団委員長会議 指導者研修会 広報研修会
盛岡市 アイーナ・いわて県民情報交流センター
11日(土) 「KIZUNA Day」
25日(土) リーダー養成講習会A 10:00～15:45
26日(日) リーダー養成講習会B ジュニア部門 10:00～15:45
大槌町吉里吉里 らふたあヒルズ

4月

フライアップ・進級おめでとう
登録事務作業



5月

22日(月) ガールスカウトの日
月間取組み 団の歴史を調べてみましょう
28日(日) 第54回岩手県連盟 定期総会



スカウト活動を支える仲間を増やそう



連盟長

高橋和恵

第5団所属

私たちは「挑戦し続ける岩手県連盟でいこう」という長期目標を掲げて何事にもチャレンジしてきました。結成50周年の式典を終えてからは、歴史を胸に「歩み続ける岩手県連盟」を合言葉とし、会員一同ワクワクしながらみんなで楽しく活動し学びを深めています。

2022年度の連盟宣言を「仲間を増やそう！活動を充実させよう！」とし、ガールスカウトの認知度アップを願い、特に「事業の見える化」にポイントを置きました。

少し2022年度を振り返ってみましょう。

5月の第53回定期総会において新役員が承認され、新しい運営の取り組みとして「団担当理事の配置」、「事業サポート団による協力体制」、「賛助会員の推薦システム」などを導入して以来、各団の成人会員も役員と共に一丸となり取り組んでいます。新リーダーの誕生やご家族の理解も深まり活動への力強さも増しました。

しっかりと根を張った木には、沢山の実りがありました。その実りの一つとして、夏には日本のガールスカウト運動100周年記念事業「インターナショナルキャンプ」で全国各地から100名近くの中高校生のお姉さんたちが岩手山麓に集い、私たちのふるさとである岩手の良さと共に、よりよい社会をつくるための自分自身の出来ることを沢山見つけてくれました。そんなお話を聞きながら、小学生も県内各地で一般のお友達と活動を楽しみました。

就学前1年から小学3年生は矢巾町で工作やゲーム、町探検を行いました。小学4～6年生は紫波町でSDGsの勉強をしました。中高生もSDGsを学び、それを深めて北海道東北地区のスカウトたちとオンラインを活用し自分の体のことを知り大切にすること、価値観の違い、平等や平和などを考えました。岩手県内の市や町で活動する8つの団の仲間の姿を動画で発表し合ったり…。本当に色々な場面で、沢山の実が生ったと思います。

そしてわたしたちは、東日本大震災から強く学んだ防災についての備えや減災へ向けた取り組みなども忘れてはけません。2023年6月に陸前高田市で行われる「全国植樹祭」にも参加し、一役を担う予定です。

2023年度の連盟宣言は「スカウト活動を支える仲間を増やそう」少女、指導者、賛助会員を含む協力者が増え、益々ガールスカウトの木に美味しい実が生りますように願ってやみません。しっかりとした一歩で「歩み続ける岩手県連盟」を確実にしていきましょう。

2023年がどのような1年になるのか、今からワクワクドキドキがとまりません。楽しみです！



▲ホームページ ▲Facebook

編集後記／

組織広報の菊地です。下半期、事業が沢山ありましたが、少し秋が深まってからのSDGs関連事業が多かったですね。SDGsを学ぶスカウトたちに一番伝えたいことは、「ガールスカウトはずっと昔、運動が始まった時からSDGsの精神で活動し続けてきた」ということです。この運動をもっと広げていけるのなら、世界は今よりもより良い世界になると思います。一緒に頑張りましょう！

来年度も活動の様子がわかり楽しく読める「めんこい通信」を目指したいと考えております。リクエストや感想なども、ぜひお寄せください。どうぞよろしく願いいたします。

ガールスカウト岩手県連盟

所在地／岩手県盛岡市みたけ3丁目38-20 フラップいわて内
TEL・FAX／019-641-1153
事務局開局／月・木 11:00～16:00
Email／gs.iwate.1153@able.ocn.ne.jp